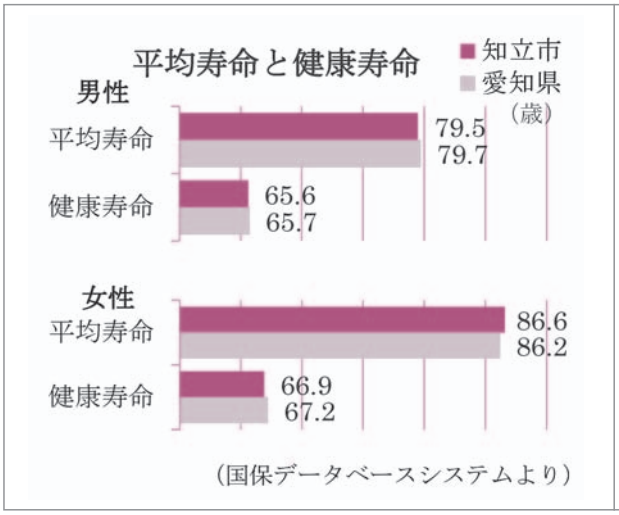
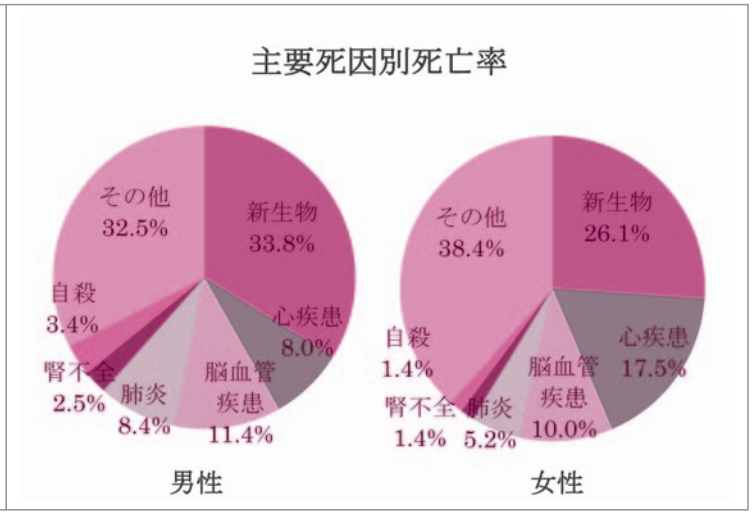
知立市国民健康保険　データヘルス計画を策定しました

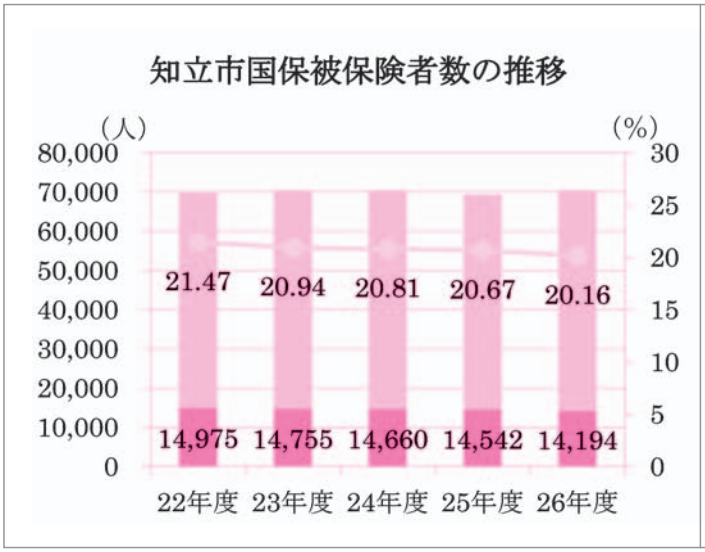
▶問合せ　国保医療課　国保年金係（☎）95－0123

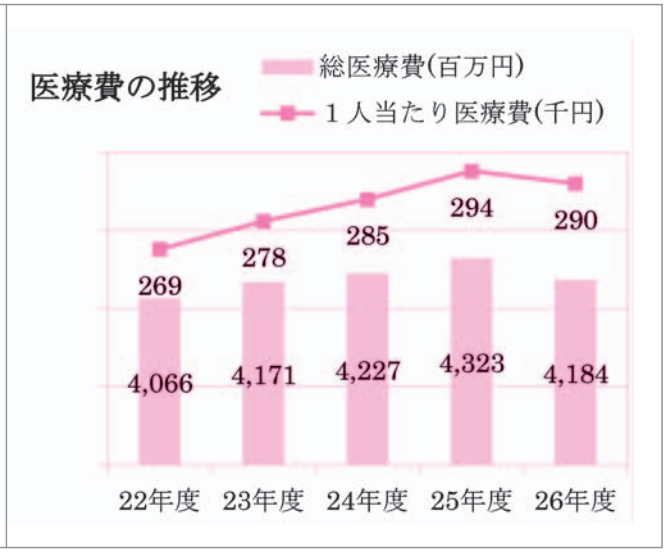
平成25年6月に閣議決定した「日本再興戦略」に掲げられた国民の健康寿命の延伸を実現するため、効率的かつ効果的な保健事業の実施を図ることを目的として、医療費や健診情報等のデータ分析に基づいて保健事業実施計画（データヘルス計画）を策定しました。計画期間は平成28年度～29年度の2年間です。





平均寿命と健康寿命の差は、男性が13.9歳、女性が19.7歳で、男性よりも女性の方が不健康な状態が長くなっています。また、死亡率は新生物（がん）や循環器系の疾患によるものが多くなっています。





知立市国民健康保険の被保険者数や加入率は減少傾向にありますが、医療費は増加傾向にあります。これから高齢者率が上がっていくにつれて、被保険者数も多くなり、医療費もさらに増えていくと見込んでいます。

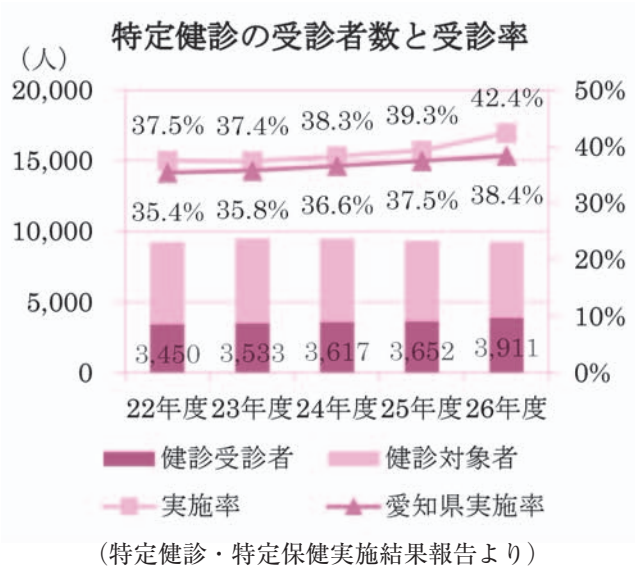
【平成27年度特定健診受診促進キャンペーンの抽選結果について】

昨年度に引き続き、特定健診受診者を対象に賞品が当たるキャンペーンを実施しました。当選者には賞品を1月下旬に発送しています。28年度も特定健診が6月から始まりますので、ご自身の健康管理の指標としてぜひ受診してください。

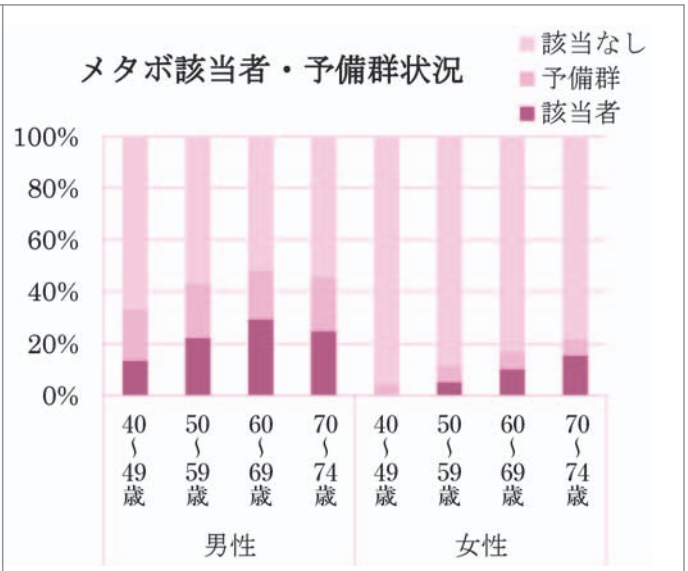
●○賞品のご案内○●

1等　QUO カード　5,000円×2名様
2等　QUO カード　3,000円×4名様
3等　オリジナル切手　800円分×20名様

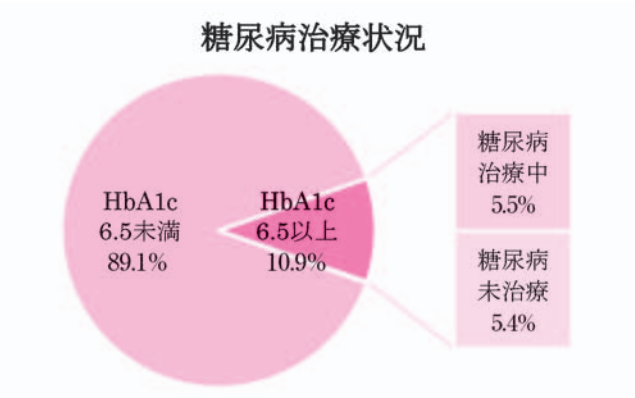
健康づくり
応援キャラクター
「かっきー」

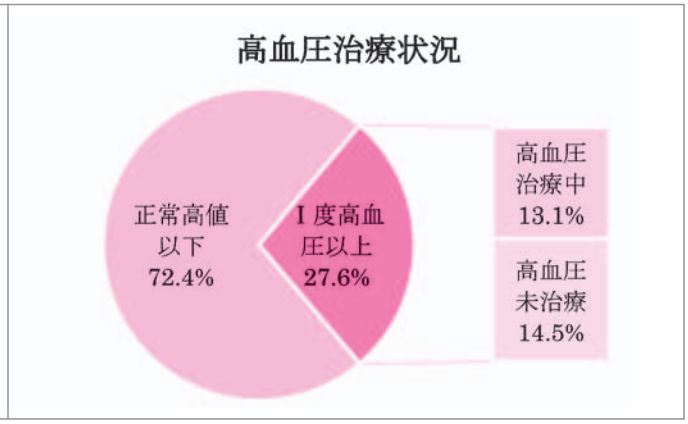


（特定健診・特定保健実施結果報告より）



特定健診対象者は毎年約1万人いますが、そのうち4千人弱の人が受診しています。県の受診率より高く維持していますが、目標値である60％となるよう受診勧奨に努めます。男性の約40％の人がメタボリックシンドロームの該当者と予備群にあたります。適切な食事と運動をして健康管理できるよう支援していきます。





健診結果が受診勧奨値になっても治療に移っていない人の割合は、糖尿病で49.7％、高血圧で52.7％です。医療機関で診療を受けて傷病が重症化することを予防しましょう。ひいては医療費の節約にもつながります。

	分類		事　業　名	実施主体
健康課題と保健事業実施計画	(1)		若年層への受診勧奨対策	国保医療課
		取組	脳血管疾患で死亡する割合が全国や県と比べても極めて高く、入院医療費も脳出血や狭心症が高いです。若い人でも脳血管疾患にかかり、死亡するケースは十分考えられます。健診の受診勧奨に努めます。	
	(2)		肥満対策	健康増進課
		取組	健診の有所見割合をみると、BMI、腹囲、HbA1c、LDLコレステロールが男女ともにあらゆる年代において県よりも高いです。肥満解消に効果的な健康、食事、運動に関する情報提供や保健指導に取組みます。	
	(3)		重症化予防対策	健康増進課
		取組	健診受診者でも糖尿病、高血圧、約半数の人が未治療であり、脂質異常症も同様です。比較的軽い症状のうちに適切な治療を受けることが大切であり、早期治療を心がけてもらえるように情報提供を行います。	